

清里の森、小学生が紹介

キープ協会、交流会開催

TV会議でマレーシアと



清泉寮などを運営するキープ協会（山梨県北杜市）は26日から、マレーシア・サバ州森林局と小学生向けの環境教育プロ

グラムを開催する。2泊3日の日程で、テレビ会議を通じてマレーシアの小学生と交流し、互いの国の森や動物を紹介し合う。国ごとの自然環境の違いを知り、自然の多様性を学んでもらう。

「NEC世界子ども自然クラブ」を北杜市清里とサバ州森林局熱帯雨林発見センターで同時開催する。小学4～6年生が20人ずつ参加。インターネットのテレビ会議システムで写真や動画をNECの協賛で活用する。

日本側は3チームに分かれ、2日目に協会の案内で北杜市清里の森を巡って動植物を観察。最終日には学んだことを、チームごとに写真や絵などを使って発表する。清里の森とマレーシアの熱帯雨林の特徴や、それぞれを代表するヤマネやオランウータンの保護施策などを比較する。